



第93号

宇治市の教育だより

発行 宇治市教育委員会
〒611-8501
京都府宇治市
宇治琵琶33番地
TEL (0774) 21-1879
<https://www.city.uji.kyoto.jp/>

編集 学校教育課内
「学校教育広報」
編集委員会

コミュニティ・スクールが始まりました!!

地域とともにある学校をめざして

地域と学校が連携し、協働する「コミュニティ・スクール」が、令和4年度に宇治市立小中学校すべてで始まりました。コミュニティ・スクールの開始により、地域と学校が、より顔が見える関係になり、子どもたちの学びや体験が充実します。また、保護者や地域住民が学校運営や教育に関わることで地域の活性化に繋がります。

学校運営協議会

どんな子どもを育てたい？
学校と地域で何ができる？

みんな(保護者・学校・地域住民等)で

肯定的で未来志向の
話し合い

熟議



木幡中学校

白熱するカルタ取り

技術・家庭科
(プログラミング学習)
地域の先生がお手伝い

昔遊び



笠取第二小学校

それぞれの学校は、保護者・地域とともに
目指す子ども像の実現に向かって話し合います。
熟議:「熟慮」と「討議」を重ねること

学習支援



北宇治中学校

環境整備



南部小学校

登下校の見守り



菟道第二小学校

クリーンアップ大作戦
「みんなでちょこっとだけ
きれいにしちゃおう！」

毎朝欠かさず子どもの
安全を見守っています

地域学校協働活動

学校を核とした地域づくりをめざして

毎日の健康観察

- 毎日の検温
- 発熱や風邪の症状があるときは、無理せず自宅療養
- 家族に体調不良者がいる場合は外出を控える

手洗いの励行

- 外から帰ったとき
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- 共有のものを触ったとき
- 食事の前後等

咳エチケットの徹底

- 咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる

密の回避

- こまめな換気
- 身体的距離の確保
- 場面に応じた適切なマスクの着用

抵抗力を高める

- 十分な睡眠
- 適度な運動
- バランスのとれた食事

STOP コロナ差別

- 不安を差別につなげない
- 正しい知識と情報を知る
- 患者やその家族、医療従事者等への配慮

(文科省及び法務省啓発資料をもとに作成)

宇治市小中一貫教育推進協議会委員による視察から

学識経験者、保護者代表、地域関係団体代表、学校関係者代表で構成している小中一貫教育推進協議会では、小中一貫教育の取組について協議するほか、各中学校ブロックの取組を視察しています。今年度は、ブロックによる取組や宇治学の授業を視察しました。

『西小倉中ブロック 西小倉小学校 3年生宇治学の授業』
『北宇治中ブロック 小倉小学校 3年生宇治学の授業』

地域のNPOの方を講師に招き、お茶についての劇づくりを行う授業



〈北宇治中ブロック 小倉小学校の視察より 委員の感想〉

3年生の宇治学「宇治茶のステキを伝えよう」のテーマに沿って実施されている演劇指導の様子を参観させていただきました。劇をつくり上げていく過程で、宇治茶にまつわる様々なことを探究的、自発的に学ぶことができる良い機会となっているとの説明を受けました。

主体的、創造的、協働的な学びの実践の具体例として、実にわかりやすかったです。子ども同士でセリフを教え合ったり、息を合わせて発したり、このような演劇を取り入れた学習は、子どもたちの成長におおいに役立つであろうと思いました。



『南宇治中ブロック 西大久保小学校 帰国外国人児童生徒理解教育・中国文化拳術演武体験』

平盛小学校の日本語指導教員による帰国外国人児童生徒理解教育の取組(小小連携)
南宇治中学校の中国文化拳術部の生徒による小学生への演武指導の取組(小中連携)



〈南宇治中ブロック 西大久保小学校の視察より 委員の感想〉

南宇治中学校独自の部活動なので、演武を見て活動内容を知ることには、地域を知ることにもなり、小中一貫教育ならではの学習と言えると思います。

小学生にとっては、身近な目標であったり憧れの姿にもなるでしょうし、中学生にとっても、自己肯定感を持ったり、自信を付けたりする機会にもなるとても良い取組だと思いました。

第63回 京都府PTA研究大会宇治大会

令和4年10月30日(日)
宇治市文化センター他

10月30日(日)に、保護者、学校、地域が一丸となって子どもたちを支えるPTA活動に取り組むために宇治の地で、第63回京都府PTA研究大会宇治大会が開催されました。京都府内のPTA会員が一堂に集い、会員同士の交流と学習を通して、つながりをより一層深め、「家庭教育の重要性」を再認識することができました。



大会テーマ 「子どもたちと開こう!新しい時代の扉」～夢とチャレンジを支える地域社会～

講演

親も子も幸せになれる
子育てとは
～ビリギャル家族の真実～



橘 こころ 様
映画「ビリギャル」主人公
小林さやかさんのお母様

分科会

第1分科会 組織・運営	「地域道德」PTA「3つのあいさつ運動」の推進について	南丹市立八木中学校PTA
	[Always challenging, strive for the best]～常に挑戦し、最善を尽くします～	亀岡市立詳徳中学校PTA
第2分科会 生涯学習	学校と連携して子どもたちと一緒に学びあうPTA活動	与謝野町立石川小学校PTA
	生涯学習を通じたPTA活動	八幡市立南山小学校PTA
第3分科会 人権教育	学校・PTA・地域で取り組む人権啓発	福知山市立日新中学校PTA
	児童の人権意識を育むPTA活動について	木津川市立上狛小学校PTA
第4分科会 青少年健全育成	「青少年健全育成に向けた取組について」～子どもたちに成功体験を～	舞鶴市立白糸中学校PTA
	PTA活動を楽しもう!	向日市立勝山中学校PTA
第5分科会 広報活動	家庭・学校・地域、相互の連携を密にして協力体制を生み出すPTA広報活動について	京丹後市立高龍小学校PTA
	保護者の意識を高める広報活動	城陽市立寺田小学校PTA
第6分科会 家庭教育	「生活の中に学びの種を見つけよう」	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授 伊藤 一美 様
第7分科会 特別分科会	「すぐやる子」と「やれない子」の習慣	ジーエルアカデミア(株) 代表取締役 マッチャモーレ 京都山城代表 塚本 亮 様

宇治市立幼稚園、小・中学校の講師登録者募集中!



先生の仕事に興味があるんだけど...

講師登録は随時受け付けています。迷っている方も、まずはご連絡ください。

フルタイムでなくても大丈夫かしら?



【お問い合わせ先】
宇治市教育委員会教育総務課 教職員係

【直通電話】0774-20-8755

「ふれあい教育相談」

対象
小・中学生の皆さん
保護者の皆さん



電話 0774-21-1890

平日の午前9時から午後5時まで

電話でもメールでも
お気軽にご相談ください



メールアドレス k-soudan@city.uji.kyoto.jp

メールアドレス用
QRコード

令和4年度
研究指定校紹介

学校図書館機能充実実践校 **榎島中学校**

毎年12月には、学校図書館ボランティアによる絵本のおはなし会を実施しています。今年度はクリスマス休戦を題材にした絵本を取り上げ、戦争と平和について深く考える良い機会となりました。

敷居は低く、門戸は広く、憩いの場を目指して

—学校図書館の取組—

榎島中学校では、主体的に学ぶ力と豊かな心を育むため、様々な読書活動を通して学校図書館の充実を図っています。

春には、全クラスを対象とした学校図書館でのオリエンテーション、3年生を対象としたビブリオバトルなど、すべての生徒が学校図書館で本と触れ合い、読書をより身近に感じられるような機会を提供しています。

その他にも、本に対して苦手意識の強い生徒、学校図書館の利用の少ない生徒などが、読書への関心を高められるような、様々なイベントを開催しています。

少しずつ取組の成果も上がり、3年前と比較すると、年間1000冊ほど貸出冊数が増加しました。

敷居は低く、門戸は広く、すべての生徒にとって親しみやすい学校図書館を目指して、取組を発展させていきたいと思っております。

人を通して本を知り、本を通して人を知るコミュニケーションゲーム。互いに本を紹介し合い、読んでみたい本のNo.1を選出します。



ビブリオバトルの様子



おはなし会の様子



青空サロンの活用

職員玄関横の青空サロンには、いつでも利用できる読書スペースを設置。図書館で除籍した本を再利用しています。



選書会の様子

第18回「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」

令和4年12月13日(火) 宇治市役所大会議室



宇治市立各幼稚園・学校関係者、PTA・育友会関係者、各学区安全管理委員会の代表者等、55名の参加がありました。

今回の会議では、京都府宇治警察署による「少年を取り巻く環境と非行・被害の現状について」の講演と、本市教育委員会から児童生徒を取り巻く環境の変化や問題行動の状況等について報告を行いました。

本市では、毎年7月10日～19日、12月10日～19日を「市民安全・安心推進旬間」と定め、子どもたちの安全を含めた地域の安全を再点検する機会としています。その一環として「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」は、家庭・学校・地域が共に手を携えながら、地域ぐるみで子どもの安全を守る取組として、継続して実施しています。



宇治市給食センター
学校管理課からのお知らせ

宇治市では、中学校給食の早期実現を目指し、宇治市五ヶ庄の旧宇治少年院跡地を候補地として、現在、給食センター整備の準備を進めています。

整備いたします給食センターでは、食材の選定から児童生徒に給食が届くまで、食中毒などの事故が発生しないよう徹底した衛生管理を行うとともに、給食のおいしさや温かさを損なうことなく給食を提供することとしています。



宇治市宣伝大使
ちはや姫

令和8年度の早期には給食が提供できることを目指し、現在、準備を進めておりますので、中学校給食の提供まで、いましばらくお待ちください。

シリーズコラム 人と人との関係性、コミュニケーション

第3回 自分の意見を伝えるって難しい
—意見が違う場合のコツ—

コミュニケーションの中では、相手の意見を理解する難しさもあれば、自分の意見を理解してもらい難しさもあります。そして、お互いの意見が違う時に、どうすればケンカにならずにコミュニケーションがとれて、意見の違いを乗り越えていけるのでしょうか。今回は、込み入った話をする時に向いている方法の1つである、『DESC(デスク)法』をご紹介します(詳しく知りたい方は、平木典子先生の『アサーション入門』講談社現代新書をご覧ください)。

『DESC法』はアメリカの心理学者ゴードン・バウアーらによって提唱され、何をどう伝えと分かりやすいかを整理して考えるのに役立ちます。最初は『D(Describe:描写する)』から始めます。ここでは、お互いに同じ情報を共有するために、客観的な事実を伝えます。次に『E(Express, Empathize:自己表現と他者共感)』です。ここでは、自分の気持ちを表現し、相手の気持ちに共感することで、お互いの見ているもの、感じているものを理解しあいます。更に次に、『S(Specify:提案)』をします。ここでは、この問題に対する特定の解決策を提案してみます。最後が『C(Choose, Consequence:選択、結果を伝える)』です。ここでは、相手の答えがYesならばどう答えるのか、Noならばどう答えるのかを考えます。つまり、客観的な事実を共有し(D)→お互いの気持ちを理解し(E)→そのうえで何か提案をしてみる(S)→相手の返

事はYesの時もあればNoの時もある(C)という流れになります。例えば、小学生の子どもだけで遊園地に行きたいと言われた時に、「そんなの危ないし無理やで。」と返事をすると、「なんで(怒)?」「自分のこと分かってくれへん。」といったやり取りになったりします。そこで、DESC法ならどうするか。最初は『D:描写する』なので、「小学生だけで〇〇県にある遊園地に行きたいんやね。」と返事をし、次に『E:自己表現と他者共感』で、「お友達同士だけで楽しみたいと思う気持ちは分かるし、確かにそうやねえ。ただ、私としては場所が遠くて、何かあった時にすぐに駆け付けられへん距離やし、大金を持ち歩いて管理するのも心配やし、子どもだけというのは賛成できひんなあ。」と伝えます。ここで一拍。そして『S:提案』として、「みんなが安全に安心して遊ぶために、誰か大人がついて行くのはどうやろう?」と伝えてみます。その結果として相手が『C:選択、結果を伝える』を返してくるので、Yesであれば大人も一緒に遊園地に行くことになり、Noであれば、なぜNoなのかについて、もう一度DESC法を繰り返すことになり、時には答えの出ないこともありますが、お互いの理解が深まることは確かです。

そして人とのコミュニケーションの中で、Noという返事があるかもしれないと思っておくこと、Noは自分に対してのNoではないので嫌なものではないと思っておくことも大事です。また、コミュニケーションの肝は『E:自己表現と他者共感』ですが、忙しい時には一番抜けやすい部分になるので、『E』を大切にしたいコミュニケーションを心がけることはオススメです。

スクールカウンセラー A

My school pride ~私たちの学校自慢~ (昨年度の取組を含む)

令和4年度、創立150周年を迎えた笠取小学校、創立50周年を迎えた北小倉小学校、同じく御蔵山小学校を紹介します。

北小倉小学校



宇宙・未来へ、虹プロジェクト ~北小倉小学校は創立50周年を迎えました~

北小倉小学校は、全校児童207名、9学級の小規模校です。昭和48年に開校し、今年度の10月に創立50周年記念式典を行いました。知・徳・体の調和のとれた児童の育成「かしこく やさしく たくましく」を学校教育目標に掲げ、めざす児童像について、「自分や友達を正しく理解する子」、「何度も考え、友達と力を合わせて取り組める子」、「自ら学び、さまざまな場面で生かせる子」とし、教育活動を展開しています。

今年度、創立50周年記念事業として、アマチュア無線局を開局し、7月21日に国際宇宙ステーションの宇宙飛行士と本校児童が英語による交信を行いました。そして、もう一つの記念事業として「虹プロジェクト」を立ち上げ、6年生の提案のもと、各学年が校内に虹を描いたり、イメージしたものを置いたりしました。また、6年生は「宇治学(総合的な学習の時間)」で、地域にテーマを移し、地域にどのような「虹」をかけて、地域とつながっていくのかについて学習しました。今後は、令和8年4月開校予定の(仮称)西小倉地域小中一貫校へつながるように「虹」をかけ続けていきます。



創立50周年記念式典の様子



宇宙ステーションとの交信の様子



虹プロジェクト

笠取小学校



歴史を辿るそして未来へ・・・

笠取小学校は、今年度、創立150周年を迎えました。この節目に笠取小学校の歴史を、ドローンでの撮影による記念DVDや記念誌にまとめる取組を行いました。取組を通して、全校児童で笠取地域や笠取小学校の良さを改めて見つめ直してみました。そして気付いたことは、自然いっぱいの中で様々な「不思議」に出会い、浮かび上がる「なぜ」を友達と一緒に考え合う「探究的な学習」の楽しさ、自分たちの学習や行事に惜しみなく力を貸して下さる笠取地域の人たちや保護者への感謝の気持ちなどでした。記念式典ではそのことを劇にして、児童全員で発表したり、全校合奏を披露したりしました。

笠取小学校は全校児童数18名の宇治市の山間部にある小さな学校です。平成13年に特認入学制度(一定の条件のもと、入学時に限り、希望すれば笠取小学校への6年間の指定校変更が認められる制度)が認められ、現在に至っています。豊かな自然と多くの愛情に包まれながら、考え合うことの楽しさ、上級生が下級生を助けるリーダーとしての力、大きな集団へ入っても自己表現できるコミュニケーション力などを育てています。これからも、探究心と自立心を育む学校として、さらなる歴史を紡いでいきます。



創立150周年記念式典での児童の発表



地域の方々にインタビューして笠取の良さをまとめたマップ

蔵 御蔵山小学校 御蔵山小学校は、創立50周年を迎えました。



御蔵山小学校は、緑豊かな松林が茂る御蔵山を切り開き、昭和48年に市内14番目の学校として開校しました。今年度で創立50周年を迎えるのを機に、松葉の色をスクールカラーと制定し、校章に松葉色を添えました。また、開校以来からの学校銘板が色褪せていたため、第3・第4代の育友会会長であり、御蔵山小学校向かいにある宝壽寺住職の小松玄澄様に題字を書いていただき、学校銘板を新調しました。

記念式典での「児童よろこびの言葉」では1年生から5年生が映像で御蔵山小学校について紹介し、続けて6年生が式典会場で未来に向けたメッセージを発表しました。式典の最後には、バルーンリリースを行い、未来への思いを込めて風船を大空に放ちました。

これからも、子どもたちが いきいきと のびのびと かいっぱい 学校を楽しめるよう、保護者や地域の方とともに手を携えながら子どもたちを育てていきます。



▲校章の除幕式



▲北校舎玄関正面に校章を設置



▲学校銘板の除幕式



▲記念植樹



▲創立50周年記念式典



▲バルーンリリース

『宇治市の教育だより』は、宇治市のホームページから閲覧することができます。

宇治市ホームページ<https://www.city.uji.kyoto.jp/> キーワード検索 宇治市の教育だより 検索

